

全国

ぜんこく
しぎかいじゅんぼう平成21年 6月15日
(2009年)
毎月3回5の日に発行第1727号
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
旬報 TEL 03(3262)2309
発行人 大竹 邦実<http://www.si-gichokai.gr.jp>

市議会旬報

地方税財源の充実強化を



藤田会長あいさつで開会
五本新会長から感謝状を受け
る藤田前会長(右) 〓 左上
五本新会長の万歳三唱 〓 左下



第85回総会で新会長選任

ごほん ゆきまさ
五本幸正氏が就任

富山市議会議長

初夏の陽気に包まれ、まばゆい新緑が溢れる東京・日比谷公会堂で5月27日、全国から市議会議長ら関係者約1500人が参集する中、全国市議会議長会は第85回定期総会を開催した。

当日は、河野洋平・衆議院議長、鳩山邦夫・総務大臣をはじめ、麻生太郎・内閣総理大臣の代理として松本純・内閣官房副長官を来賓に迎えたほか、江田五月・参議院議長からも定期総会開催を祝福するメッセージが寄せられ、華が添えられた。

総会では、任期満了に伴う会長の選任が行われ、役員選考委員会で選考の結果、第58代会長には五本幸正(ごほん・ゆきまさ)・富山市議会議長が推薦され、満場一致の賛意をもって選任された。

議案審議では、五本新会長による議事進行のもと、北海道、東北など全国9部会から提案された25件に及ぶ要望決議を審議。併せて、会長提案による「地方分権改革の推進」「地方税財源の充実強化」に関する各決議を審議、原案のとおり採択された。また、「北朝鮮の核実験に抗議する緊急決議」も可決された。

このほか総会では、新たに市制施行した宮崎県日南市、鹿児島県伊佐市の紹介、正副議長・議員の永年勤続表彰が行われ、3221人の該当者が功績を讃えられた。また、各委員会による平成20年度活動報告などが行われ、盛会のうちに全日程を終了した。

地方分権改革の推進



開会あいさつする藤田会長

第85回定期総会は10時30分、定刻どおり開会。来賓に河野洋平・衆議院議長、鳩山邦夫・総務大臣らを迎え、藤田会長のあいさつで開始された。

藤田会長は、厳しい社会経済情勢下での地方税財政対策について「地方の自立を可能とする地方税財政の充実強化が不可欠」と強調するとともに、地方分権改革の推進に伴い「地方が自らの判断と責任の下で行財政運営を行うことができる仕組みを構築しなければならぬ」と訴えた。

さらに、極めて厳しい財政状況にある市議会議員年金について、平成の大合併により短期間に市町村議会議員が4割も減少したことが起因として「合併特例法の中で『国は公共会の健全な運営を図るため必要な措置を講ずる』と明記



五本 幸正
(ごほん・ゆきまさ)

【略歴】

昭和12年1月4日生まれ、72歳。
旧富山市議、昭和54年4月～平成17年3月。富山市議、平成17年4月から現在。議長歴、平成7年5月～9年6月、平成20年3月24日～21年4月23日、21年4月30日から現在。富山県出身。

五本幸正会長就任あいさつ

第58代の会長に選任をいただきました、富山市議会議長の五本幸正でございます。皆様方の全会一致のご推挙に対

し心から御礼申し上げます。
全国806市区が加入する、歴史と伝統と権威ある全国市議会議長会会長に就任

方への財政支援策を示した。
このほか、江田五月・参議院議長からのメッセーじが披露

このうち表彰式を行い、永年勤続の正副議長と議員、3221人が表彰された。正副

を代読した後、河野衆院議長が祝辞を述べた。続いて登壇した鳩山総務相は「地方が活性化し、元氣にならないければ国は元氣にならない」と、地

続いて、任期満了に伴う会長の選任が行われ、新会長に五本幸正・富山市議会議長を選任。五本新会長から就任のあいさつが述べられた。左。

されている」と指摘。国の責任を果たすよう強く求めた。

次に来賓から祝辞があり、はじめに麻生太郎・内閣総理大臣の代理として出席した松本純・内閣官房副長官が祝辞

された11月4・5面に来賓祝辞。

次に、昨年の総会以降、新たに市制施行した鹿児島県伊佐市、宮崎県日南市の2市が紹介され、代表して伊佐市の丸田議長があいさつした。

された114・5面に來賓祝辞。



熱氣あふれる日比谷公会堂

議長表彰受賞者を代表して二階堂馨・新発田市議会議長が、議員表彰受賞者を代表して柳坪進・広島市議会議員が、そ

し、身の引き締まる感激を覚えるとともに、大きな功績を残されました歴代会長さんの後を受け、その責任の重大さを痛感しているところであります。

藤田前会長におかれましては、地方分権の推進や地方税財源の充実確保、市議会議員年金財政問題等について格段のご尽力をいただき、さらに、本会の発展に大いにご活躍をされました。

後を引き継ぎます私といたしまして、この後選ばれます副会長はじめ、新役員の皆

れぞれ五本会長から表彰状を受領。受賞者を代表して二階堂議長が謝辞を述べた。6面に特別表彰の受賞者名。

午後の会議では、地方行政など7委員会の委員長らが1年間の活動経過、要望結果について報告し、了承された。

議案審議では、9部会から提出された要望事項25件を可決。会長提出の「地方分権改革の推進に関する決議」「地方税財源の充実強化に関する決議」2件を採択するとともに、「北朝鮮の核実験に抗議する緊急決議」を採択した。

任期满了に伴う役員改選で

様のお力添えを頂きながら、皆様のご期待にお応えできま
すよう全力を傾注して参る所
存であります。

さて、地方分権の推進は第二期分権改革の只中にあり、地方自らが創意工夫できる税財政基盤の確立のため、偏在性の少ない地方税体系を構築する等、真の地方分権に向けてまさに正念場と考えております。

また、市議会議員年金については、総務省で「地方議会議員年金制度検討会」が設置され、この秋にも年金財政改

は、副会長4人、監事5人が選任されるとともに、各部会から推薦された部会長、理事、評議員、各委員会委員を選任。

このほか、地方分権・道州制調査特別委員会委員長が会長から委嘱された。また、本会の元会長で現参議院議員の二之湯智氏、同小泉昭男氏を顧問に委嘱、前・元会長（いずれも現職議員）、前副会長（現職議長）と政令指定都市議長の25人を相談役に委嘱した。

閉会式では退任した前役員
522人に感謝状が贈られ、
五本会長の閉会あいさつによ
り総会の全日程を終了した。

善のための具体的施策をまとめ、その上で地方公務員等共済組合法の改正案が国会に提出される予定であります。

本会でも、議員年金の安定的運営の確保に向け、全国の市議会が一致団結して、これまでも増して強力に要望活動を展開していくことが必要であります。

私も、これら諸課題の解決に向けて全力を傾注して参る所存であります。どうか皆様方の力強いご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

(要約)

(要約)

決議、9部会提出議案を可決

総会では、会長提出議案2件と、9部会からの提出議案25件が審議、可決された。これらは7月15日の理事会で所管の委員会に付託され、要望書として取りまとめられる。このほか、「北朝鮮の核実験に抗議する緊急決議」が可決された。各部会の要望事項、会長提出決議は次のとおり。

- ① 地方税法に基づく還付加算金の割合(率)の引き下げ
(東海)

② 新たな総合的過疎対策
(中国)

③ 新たな過疎対策法の制定
(四国)

④ 北方領土問題の早期解決と隣接地域の振興対策
(北海道)

⑤ 市議会議員年金財政に対する緊急要望
(近畿)

⑥ 地域医療体制の充実確保
(北海道)

⑦ 地域医療体制の充実強化
(東北)

⑧ 医療体制の充実
(関東)

⑨ 妊婦健診に対する国庫補助の継続
(中国)

⑩ 地域医療体制の充実(九州)
(九州)

⑪ 少子化対策としての財政支援拡充
(北信越)

⑫ 児童扶養手当の対象拡大を求める要望
(関東)

⑬ 教育予算の拡充及び学級編
- 成基準の見直し
(中国)

⑭ 雇用対策の拡充を求める意見書
(関東)

⑮ 緊急雇用対策
(東海)

⑯ 水道施設の耐震化事業に係る補助制度拡充
(四国)

⑰ 「食の安全」の確保及び消費者・生活者の視点に立った行政の確立
(北信越)

⑱ 日本の農業再生
(九州)

⑲ 北海道新幹線の建設促進
(北海道)

⑳ 北陸新幹線の建設促進
(北信越)

㉑ 道路交通網の整備促進
(東北)

㉒ 四国東南部地域の道路整備
(四国)

㉓ 九州における高速交通網の整備充実
(九州)

㉔ 港湾の整備促進及び機能強化
(東北)

㉕ 安定的な下水道事業の経営持続
(東海)



議案説明担当市の各議長

地方分権改革推進委員会は、これまでの二次にわたる勧告に続き、今後、分権型社会にふさわしい税財政構造の構築について調査審議を進め、第3次勧告を行うこととしており、これらの勧告を踏まえ、政府においては、地方分権改革推進計画を作成し、平成21年度中できるだけ速やかに「新分権一括法案(仮称)」を国会に提出することとされている。

地方分権改革の推進に関する決議

(要旨)

- 大して地域の個性を活かし活力に満ちた地域社会を実現することになり、そのためには、地方が自らの判断と責任の下で行政運営を行うことができる仕組みを構築しなければならぬ。
- 併せて、地方分権改革の進展に伴い、地方公共団体の自己決定・自己責任の範囲が拡大すれば、住民代表としての意思決定機関である地方議会の役割は一層重要性を増すことになる。地方議会が住民の負託に応え、その機能を十分に発揮していくためには、議会の自主性・自律性を高め、各議会が地域の実情に応じ、自らの判断により権能を行使できるようにすべきである。よって、国においては、下記事項を実現するよう強く要望する。
- 1 国と地方の役割分担の見直しと権限・事務・財源の一体的な移譲
 - 2 国と地方の二重行政の解消等による行政の簡素化
 - 3 「(仮)地方行政財政会議」の法律による設置
 - 4 地方議会の権能強化

よう強く要望する。

記

1. 地方交付税の増額

地方交付税については、地方財政計画に地方の財政需要を適切に反映し、総額を増額すること。

2. 地方税源の充実強化

地方が担うべき事務と責任に見合うよう、国税と地方税の税源配分をまずは5対5とすること。

その際、地方消費税の充実など偏在性の少ない地方税体系の構築に最優先で取り組むこと。

地方税財源の充実強化に関する決議(全文)

策が示されている。

これらは、これまで地方が強く訴えてきた地方交付税の還元・増額や緊急経済対策の早期実施の要請にも応えるものであり、高く評価するものであるが、現下の地方財政は、景気悪化に伴

また、「経済危機対策」として策定された平成21年度補

世界的な金融経済危機による景気の悪化に伴い、地域経済も不況の度を深めており、地方財政は未曾有の危機に直面している。

こうした中、政府においては、これまで「生活対策」及び「生活防衛のための緊急対策」を実施するとともに、平成21年度の地方財政計画に地方交付税を1兆円追加計上するなどにより、地方財政運営に対する支援措置が講じられたところである。



分権型社会が目指すべき国の形

〔祝辞〕 内閣総理大臣 麻生 太郎

(松本純・内閣官房副長官代読)

ただいまご紹介を頂きまし
た内閣官房副長官の松本でござ
います。麻生総理は本日、
国会対応のため出席が叶いま
せん。かわりに祝辞を私が代
読させていただきます。

住民福祉の向上のため、日
ごろから地域社会の最前線で
ご尽力頂いている皆様方に敬
意を表します。

現在の経済危機は、世界同
時不況かつ100年に一度の
規模のもので、地域の最前
線におられる皆様方は、この
不景気を肌で感じていらっし
やることと思います。

私は昨年8月以来、事業総
額75兆円の三段ロケットの経
済対策を打ち、これを着実に
実施していますが、この中で
特に、地方を重点としていま
す。



地方が主役の国づくりを実現へ

〔祝辞〕 衆議院議長 河野 洋平

一言、ご挨拶を申し上げます。
日ごろから地方自治の発

展、住民生活の向上のために
不断の努力を続けておられま

す市議会議長の皆様方に対し
まして、心から敬意を表した
いと思います。

昨今では特に、本年1月か
ら3月にかけてのGDPが、
戦後最大の下げ幅を記録する
といった、極めて深刻な景気
低迷の中にあつて、各自治体
におかれましては、この厳し
い経済状況や雇用情勢の改善
のため、日夜ご苦心しておら
れることと拝察申し上げます。
第であります。

1兆円増額、高速道路料金の
休日1000円、総額2兆円
の定額給付金などの対策を行
っています。その結果、地域
の経済対策や住民への生活支
援などについて、着実に成果
を上げつつあります。

は極めて厳しい状況にありま
す。そのため4月、新たに経
済危機対策を策定し、補正予
算を国会に提出致しました。
このうち地方に関しまして
は、公共事業の地方負担を軽
減するため1兆4000億円
の地域活性化・経済危機対策

臨時交付金を盛り込みまし
た。各自治体におかれまして
も、これらの交付金を活用し
て頂くとともに、事業の早期
実施にご協力をお願い致しま
す。

分権型社会が目指すべき国
の形であります。今後、基礎
自治体としての市町村の役割
はさらに増大し、市町村議会
の責任も大きくなります。議
長の皆様におかれましては、
住民の代表として議会の権能
をますます発揮されるよう、
お願い致します。(要約)

国会と致しまして、この
不況を全国民がそれぞれ乗り
切っていくように、必要な
施策をできるだけ早くつくり
上げてまいらなければならな
い、こう考えております。

さて、地方分権の改革を総
合的・計画的に推進すること
と致しました地方分権改革推
進法は、平成22年3月末で3
年間の施行期間が終了するわ
けであります。それまでに
政府は、法制上あるいは財政
上の措置を定めた地方分権改
革推進計画をつくることにな
っております。

(要約)

地方が元気でなければ国は病む

〔祝辞〕 総務大臣 鳩山 邦夫

全国市議会議長会第85回定期総会が開催されまして、日頃から地方自治の発展のためにご尽力をいただいております皆様方に対して、心から敬意を表します。

まず、議員年金制度の安定、これは今、総務省の検討会で検討させておりますが、絶対に重要です。数年前にフランスへ参りました際、現地の人が言いました。「議員年金は、国でも地方でも、とても大事だ。しっかりとした年金制度、安定制度がなければ、優れた人材が議員になっ

てくれないじゃないか」と。

私はそういう社会であって欲しい、そういう国でなければならぬ、そう思っております。優れた人材に議員となつて頂くためにも、年金制度が安定できるように研究させていこうと、そう思っております。

それから、麻生総理大臣は自ら総務大臣を2年以上にわたり経験されたこともあり、地方の実情に非常に詳しく、また危機感を持っておられます。ですから「地方を活性化させなくちゃいけない」「地方が元気にならないければ、この国は元気にならない」とい

う、総理の信念は揺らぐことなく、常に私にとっては最大応援団長として、ご支援を頂いております。

ですから、今回、平成21年度の地方財政計画あるいは予算という面で、1兆円の地方交付税の特別の上乗せをして頂いた。このことは麻生総理の決断であります。そのうち5000億円は、2年間限りではあります但雇用に使って

民主主義の原点は地方議会

参議院議長メッセージ

全国市議会議長会第85回定期総会が盛会のうちに開催されますことを心より喜び申し上げます。本来であれば、出席してご挨拶を申し上げるべきところ、本日は参議院本会議のため出席できず、残念です。

ご列席の皆様は日夜、市民の声に耳を傾けて、市民生活の向上に力を尽くされながら、市議会のかじ取りや市政

頂く。あとの5000億円は、さまざまな地方財政需要に全て染み込んでおりますから、これは未来永劫続いていく。まさに麻生総理の決断であつたと言えます。

また、地域力創造プラン、「鳩山プラン」などと勝手に呼ばせて頂いておりますが、1つ重要なのは定住自立圏構想でございます。これはご承知のように、中心市と周辺市町村が個別契約を結んで、全体として人口が増えていくという仕組みとしております。この定住自立圏構想というのは、壮大な取り組みでございます

のチェックに意を用いております。同じ議会運営の責任者の一人として、このご苦労に深く敬意を表します。

また、このたび、議会への長年のご貢献により、栄えある表彰を受けられる皆様に心からお祝いを申し上げます。

地方議会は、地域住民にとって最も身近な議会であり、地方自治の根幹、すなわち民主主義の原点です。中でも市

議会は、市町村合併の進行によりカバーする範囲が広がっており、市民生活に与える影

ますので、ぜひともこれをお進め頂きたい。

それから、いわゆる辺地、過疎地と言われるところ、あるいは純粋な農村地帯をどうするか。これは鳩山プランの目玉として、地域おこし協力隊、住民票を移して地方、地域へ入って頂いて、少なくとも1年は住んで頂くと。これは300人から始めますが、3年後には3000人あるいは5000人規模で実施することによって、地域の発展を図っていききたいと、こう思っております。

100年に一度の経済金融

危機のなか、現在、国会では補正予算の審議中でございます。予算額は真水で15兆4000億円。そして、事業規模では5兆8000億円、このような大規模の補正予算は今までになかったと思う。

しかし、100年に一度の経済金融危機である以上、史上最大の作戦をとるのは当然のことです。この史上最大の作戦が経済危機克服のために見事機能できますように、我々は皆さんとともに頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

(要約)

つてまいりました。首長だけでなく、議長の皆様も、この大変な苦境に深く悩まれていると思えます。国と地方の問題については、国会でも将来世代のため真摯に議論が続けてまいりますが、市議会におかれましては、なお一層のご理解をお願い致します。

結びに、全国市議会議長会のみまますのご発展とご列席の皆様のご健勝、ご多幸を祈念して、お祝いの言葉と致します。

参議院議長 江田五月



特別表彰受賞者

正副議長8年以上
議員30年以上

定期総会での正副議長、議員の永年勤続表彰者は、特別表彰、一般表彰合わせて322人。内訳は次のとおり。

◆特別表彰▽正副議長8年以上▽6人▽議員45年以上▽2人▽同40年以上▽2人▽同35年以上▽14人▽同30年以上▽189人▽同25年以上▽82人▽同20年以上▽120人

◆一般表彰▽正副議長4年以上▽88人▽議員15年以上▽336人▽同10年以上▽2382人
本紙では、紙面の都合により、特別表彰の正副議長8年以上、議員30年以上の受賞者所属議会と氏名を掲載します。(敬称略、5月27日の定期総会時の被表彰者名簿順)

【正副議長8年以上】

▽網走▽宮川隆昌▽新発田▽
二階堂馨▽菊川▽寺本達良▽
嘉麻▽坂口政義▽竹田▽古井
久和▽鹿屋▽西園孝行

【議員45年以上】

▽大東▽岩淵弘▽広島▽柳坪
進

【議員40年以上】

▽大船渡▽村上健一▽新宿▽
久保合介

【議員35年以上】

▽宮古▽田中尚▽気仙沼▽菅
原勝一▽三浦▽岩野匡史▽千
葉▽穴倉清蔵▽野田▽石山昇
▽摂津▽柴田繁勝 山本善信
▽神戸▽北山順一▽御所▽安
川勝 村上豊一▽府中▽能島
和男▽庄原▽平山俊憲▽下松
▽渡邊敏之▽菊池▽横田輝雄
【議員30年以上】

▽札幌▽伊与部年男 佐藤美

智夫▽函館▽北原善通▽室蘭
▽桜場政美 大友勇▽北見▽
宮沢祐一郎▽留萌▽野崎良夫
▽紋別▽佐藤留次▽砂川▽北
谷文夫▽黒石▽村上隆昭▽北
上▽鈴木健策▽久慈▽宮澤憲司 城内仲悦▽遠野▽佐々木
熙▽仙台▽池田友信▽多賀城
▽竹谷英昭▽秋田▽相原政志
▽大館▽畠澤一▽鶴岡▽中澤洋▽新庄▽齋藤義昭 渡部
平八▽上山▽菊池喜英▽福島
▽阿部儀平▽郡山▽渡辺隆弘▽喜多方▽山口和男▽新潟▽
松原藤衛▽新発田▽二階堂馨
▽見附▽井上慶輔▽富山▽五本幸正▽氷見▽森越林太郎▽
金沢▽井沢義武▽七尾▽石倉
喜一▽輪島▽大畑豊▽大野▽

砂子三郎▽中野▽青木豊一▽

青梅▽井村英廣▽府中▽小野

寺淳▽国分寺▽星文明▽国立
▽高原幸雄▽福生▽小野沢久
▽武蔵村山▽竹原キヨミ▽多
摩▽菊池富美男▽新宿▽松ヶ谷まさお▽台東▽藤平一雄
茂木孝孔▽墨田▽中村光雄
西原文隆▽江東▽堀川幸志▽大田▽永井敬臣▽杉並▽小泉
やすお 太田哲三▽北▽木元
良八▽練馬▽武藤昭夫▽足立

雄 濱崎健一▽横浜▽嶋村勝



夫 花上喜代志 小

幡正雄▽平塚▽後藤
輝彦▽藤沢▽鈴木明夫▽小田原▽細田常
夫▽相模原▽山岸一雄 菅野通子▽水戸
▽須能昭一 松本勝久▽土浦▽折本明
沼田義雄▽常総▽堀越道男▽つくば▽石
川千之▽足利▽長岡正幸▽栃木▽慶野昭
次▽日光▽登坂理平▽真岡▽西田一之▽
川越▽佐藤恵士▽秩父▽今井武蔵▽越谷
▽今野忠雄▽和光▽山本軍四郎▽新座▽小鹿伸衛
朝賀英義▽北本▽高橋節子中山敬弘▽千葉▽糸日谷義
男▽銚子▽三浦眞清▽船橋▽石川敏宏▽木更津▽前田清治
三上和俊▽松戸▽谷口薫▽成田▽越川富治▽佐倉▽富塚
忠雄▽旭▽神子功▽八千代▽

海老原高義 松

井秀雄▽匝瑳▽
林日出男▽香取▽根本太左衛門
▽静岡▽沢入育男 鈴木和彦
剣持邦昭▽三島全辞市議以上
表彰述べ議年

議員表彰受賞者を代表して受領する

柳坪進・広島市議会議員(右) 議員
45年以上で特別表彰を受賞

士▽松本貞彦▽裾野▽小澤良

一▽名古屋▽浅井日出雄 荒
川直之▽津島▽杉山良介▽桑
名▽飯田一美▽鈴鹿▽森義明市川義高▽岐阜▽近藤武男
松岡文夫 服部勝弘 堀田信夫▽大垣▽高畑正▽多治見
▽森壽夫▽羽島▽不破啓司▽大阪▽加藤正武 太田勝義▽
池田▽内藤勝▽吹田▽山本力由上勇▽泉大津▽小林修平
小西日出夫▽高槻▽久保隆夫▽貝塚▽尾崎義彦 新川節
雄▽守口▽澤井良一 裕利夫▽枚方▽堀井勝▽八尾▽平田
正司 伊藤輝夫 垣内博美▽

三郎

寢屋川▽北野志郎 山本三郎

安田勇▽松原▽辻本正明▽
門真▽大本郁夫▽藤井寺▽石田隼人▽京都▽井上與一▽
宇治▽浅見健二▽八幡▽橋本宗之▽彦根▽成宮祐二▽神戸
▽田中健造▽尼崎▽高岡一嶋洋一 池本晃 中須多門▽
大和郡山▽東川勇夫▽海南▽前田雄治▽米子▽遠藤通▽松
江▽出川修治 中村晴洋 加藤滋夫▽出雲▽寺田昌弘▽倉
敷▽大本芳子▽玉野▽熊澤義郎 小泉馨▽広島▽種清和夫
月村俊雄▽尾道▽宇田田良孝▽呉▽岩原原▽宇部▽田中
敏弘▽徳島▽隅倉純爾▽丸亀▽倉本清一▽坂出▽富岡利昭
▽松山▽中西智▽今治▽井出健司▽高知▽岡村康良▽宿毛
▽中川貢 西村六男▽室戸▽林竹松▽福岡▽大森哲也 石
村一明 小石原淳一 稲員大三郎 津田たかし 川上義之
▽中間▽中家多恵子▽太宰府▽武藤哲志▽長崎▽深堀義昭
▽玉名▽堀本泉 中川潤一▽別府▽首藤正▽中津▽村上猛
荒木ひろ子▽佐伯▽戸山盛喜▽日向▽萩原紘一▽南さつ
ま▽相星二三夫▽垂水▽川畑

三郎

新役員を選任

顧問、相談役も委嘱

員、元会長、小泉昭男(同)

顧問、相談役も委嘱

総会では新役員を選任したほか、元会長で現参議院議員の二之湯智氏、同小泉昭男氏を顧問に、前会長はじめ元会長、前副会長、指定都市市議会議長を相談役に委嘱した。新役員の氏名等は次のとおり。

◇会長 五本幸正(富山市)

◇副会長 宮崎弥磨(福井市)、篠崎光男(宇都宮市)、長野操(松阪市)、宮武博(岡山市)

◇監事 獅畑輝明(赤平市)、藤田昭(弘前市)、橋本和信(奈良市)、泉雄二(宇和島市)、進藤健介(唐津市)

◇顧問 二之湯智(参議院議員)



選任された新役員

正副委員長を選任

5委員会が合同会議

総会終了後、地方行政、地方財政、社会文教、産業経済、建設運輸の5委員会は、日比谷公会堂で合同会議を開き、各正副委員長を選任した。

各委員会の正副委員長の氏名、所属議会は次のとおり。

◇地方行政委員会 委員長 野々下重夫(寝屋川市)、副委員長 小塩作馬(加賀市)、三重野精二(由布市)

◇地方財政委員会 委員長 岡孝志(大洲市)、副委員長 泉二良(熊谷市)、遠藤嘉

昭(宮若市)

麻生総理と面談

五本会長が地方分権要請



麻生総理に面談する五本会長(上写真、右から六団体代表。国と地方の意見交換会に出席する五本会長(下写真、右から3人目)

地方六団体の代表者は5月27日、首相官邸で麻生太郎・内閣総理大臣と面談したのち、「国・地方の定期意見交換会」に臨んだ。

本会からは、同日の本会定期総会で第58代会長に選任された五本幸正・会長が出席。麻生総理へ、地方公共団体金融機構が6月1日に設立されたことに対し感謝の意を表するとともに、地方分権改革を強力に推進するよう求めた。また、国・地方の定期意見交換会で五本会長は、「地方

補正予算早期成立を

五本会長が自民戦略会議で



自民党の日本経済再生戦略会議に出席する五本会長(左)

5月28日、自民党本部で開かれた「日本経済再生戦略会議」に五本会長が出席した。

同会議は、政務調査会の下に設置されており、会長を町村信孝・前官房長官が務めている。今年の3月10日に初会合を開いて以来、100年に一度といわれる経済状況の難局に対応するため、精力的に意見交換を実施してきた。

この日、出席した五本会長は、党内でも各分野に精通した実力者に対し、地方経済の窮状を訴えたうえで、国会で審議中の平成21年度補正予算、併せて関連法案の早期成立を求めた。また、地方交付税総額の増額をはじめとして、地方財政の運営に支障が出ないよう、特段の配慮を講じるよう求めた。

なお、21年度補正予算には、地方向けの対策として「地域活性化・公共投資臨時交付金」「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」の創設が示されており、成立すれば約2・4兆円の予算措置が講じられることとなる。

税財源の充実強化」「地方分権改革の推進」の2点を要望。この2点については、五本会長が本会定期総会へ決議案として提案し、満場一致の賛意をもって採択されている。決議は3面に掲載。

五本会長は、政府側代表として出席していた河村建夫・内閣官房長官、鳩山邦夫・総務相兼地方分権改革相、与謝野馨・経済財政相らに対し、地方交付税の総額を増額するよう訴えた。また、地方議会の権能強化への理解を求めた。

20年度決算を認定

議員共済会が代議員会開く



共済会の新会長に就任した五本・富山市議長がいさつ

市議会議員共済会は5月28日、東京・日本都市センター会館で第98回代議員会を開き、新役員Ⅱ下掲Ⅱを選任した。

共済会の会長には、共済会定款の定めにより、全国市議会議員共済会の新会長に選任された五本幸正・富山市議会議員が就任した。

議員年金問題が正念場を迎えるなか、会議冒頭あいさつで五本会長は、「市議会議員年金財政が危機的状況に立ち至っている。議員年金問題は私どもにとって、極めて重要

な問題」と強調した。

会議では、前会長の藤田博之・広島市議会議員が市議会議員共済会の特別顧問へ就任すること、総務省の検討会に引き続き委員として参加することが了承された。同検討会では、年内にも報告書を取りまとめる予定。

このほか会議では、年金給付の資金に充てられる「給付経理」、共済会の事務費用に充てられる「業務経理」それぞれを平成20年度会計決算Ⅱ左表Ⅱを認定した。

【市議会議員共済会新役員Ⅱ】
▽会長Ⅱ五本幸正(富山市)
▽副会長Ⅱ福井久男(佐賀市)

▽理事Ⅱ堀江洋(石狩市)、平向岩雄(新庄市)、富永芳夫(小浜市)、山口金光(秦野市)、佐藤善一(関市)、塩田善弥(近江八幡市)、高田和博(岩国市)、近藤強高知市)、深沢としさ(新宿区)
▽監事Ⅱ川村博通(山陽小野田市)、富永栄一(学識経験者)

(5月28日現在)

20年間の財源不足額を試算

地方議会議員年金制度検討会

総務省は、5月29日、「地方議会議員年金制度検討会」

議員年金対策会議が初会議

全国市議会議員共済会と市議会議員共済会との合同による「議員年金対策会議」(座長Ⅱ五本幸正会長)の第1回会議が東京・日本都市センター会館で開かれた。

同会議は、総務省に設置された「地方議会議員年金制度検討会」における議論と平行する形で協議を行い、議員年

金の長期的安定のための具体的方策等を検討する。この日の会議では、本年11月までの間、5回程度開催することを確認した。

このほか会議では、検討会の審議状況を見据え、18年改正における問題点の明確化と検証、合併特例法の規定に基づく国の激変緩和措置が不十分であったことなどが指摘された。

また、市・町村共済会の23年度から20年間の財源不足額を2763億円と試算、この財源不足改善方策の必要性及び議員年金を廃止する場合の課題も指摘した。

平成20年度 市議会議員共済会決算 (要旨)

(平成21年3月31日現在)

給付経理 (給付に要する費用)	(単位: 千円)
1 収支の状況	
(1) 収入総額	42,056,283
(主な収入の内訳)	
ア 給付費負担金	19,040,635
イ 掛 金	18,463,238
ウ 特 別 掛 金	3,480,110
エ 利息及び配当金	447,899
(2) 支出総額	51,015,399
(主な支出の内訳)	
ア 退職年金	37,921,887
イ 退職一時金	797,118
ウ 遺族年金	10,951,193
エ 遺族一時金	56,902
オ 財政調整拠出金	1,146,000
(3) 収支損益額 ((1) - (2))	△8,959,116

平成20年度は収入総額より支出総額の方が上回ったため、89億5,911万6千円の当期損失金となった。このため、前年度の給付積立金440億9,542万8千円を取り崩して平成20年度の給付に要する費用の不足金に補てんした。これにより、平成21年度に繰り越した給付積立金は351億3,631万2千円となった。

2 主な資産の内訳	
(1) 預 金	6,604,533
(2) 投資有価証券	5,192,192
(3) 有価証券信託	2,001,100
(4) 生命保険	21,460,264

業務経理 (事務に要する費用)	(単位: 千円)
1 収支の状況	
(1) 収入総額	292,798
(収入の内訳)	
ア 事務負担金	290,251
議員一人当たり13,000円×議員定数	
イ 利息及び配当金	2,163
ウ 雑 益	384
(2) 支出総額	251,078
(支出の内訳)	
ア 役員報酬及び職員給与	92,715
イ 旅費及び事務費	43,935
ウ そ の 他	114,428
(3) 収支損益額 ((1) - (2))	41,720

平成20年度は収入総額の方が支出総額より上回ったため、4,172万円の当期利益金となった。このため、前年度の剰余金2億3,098万7千円に当期利益金を上乗せした。これにより、平成20年度に繰り越した剰余金は2億7,270万7千円となった。

(座長Ⅱ大橋洋一・学習院大学法学部研究科教授) 第2回会議を東京・虎ノ門パストラルで開いた。本会からは、藤田博之・市議会議員共済会特別顧問(広島市議会議員)が委員として出席した。

第2回は、事例を交えた地方議会議員の活動実態報告、前回18年検討会での財政収支見通しの検証報告などがされた。検討会見通しに乖離が生じた原因については、予想以上の会員数減や報酬増とならなかったことにより、収入が乖離したことにあるとした。

検討会では、藤田特別顧問が、現在の掛金率の限界論を強調するとともに、「合併特例法の規定では、国は共済会の運営について適切な措置を講じるとなっている。国はどのように措置するかを問いたい」と求めた。

(検討会議事録は、総務省ホームページで公開されているほか、全国市議会議員共済会のホームページからご覧いただけます)